

音鑑・夏の勉強会 2021

インターネット講習（教員免許状更新講習 選択領域 6時間認定）
 《講習1》2021年7月30日～8月12日（オンデマンド動画配信）
 《講習2》2021年8月21日（オンライン・ミーティング）

2021年度の「音鑑・夏の勉強会」は、冬の勉強会に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、インターネット講習（オンデマンド動画配信＋オンラインミーティング）で行いました。

プログラム：《講習1》

- ① 講 演「鑑賞の授業で気を付けたいこと」
- ② 講 演「これからの鑑賞指導と学習評価について」
- ③ 分科会ワークショップ「楽曲分析から授業構想まで、事例の概要と考え方」

教材 小学校分科会 『パパゲーノとパパゲーナの二重唱』／中学校分科会 『フーガ ト短調』

《講習2》

- ④ グループ研修「指導の場面について具体的に考える」

教材 小学校グループ 『パパゲーノとパパゲーナの二重唱』／中学校グループ 『フーガ ト短調』

講 師：藤沢 章彦（元国立音楽大学教授、当財団理事） 全体講師 ①

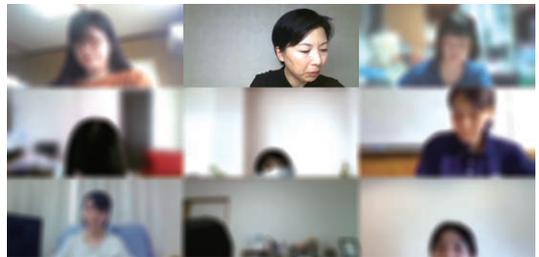
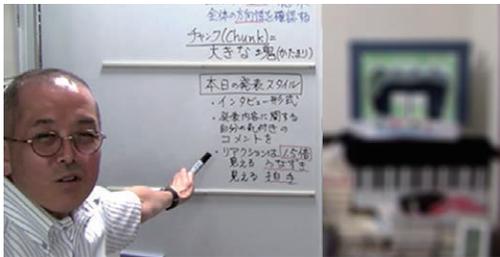
研究委員：館 雅之（神奈川県横浜市立太尾小学校校長） ②

水谷 愛（埼玉県川越市立鯨井中学校教諭） ③

河崎 秋彦（茨城県取手市立取手東小学校教諭） ③④

勝山 幸子（東京都港区立御成門中学校主任教諭） ④

●《講習2》④グループ研修「指導の場面について具体的に考える」



▲音鑑で初の試みとなる、「オンライン・ミーティング」でグループ研修を行いました。少人数での開催だったため、参加された先生方でじっくりと意見交換をしながら、指導の場面について検討しました。

【アンケートより】

- ・講演②について、小学校と中学校の比較を交えながら、ポイントを絞って説明していただいたので大変分かりやすかったです。特に「主体的に学習に取り組む態度」については、具体的なイメージをもつことができたので、今後に生かしていきたいです。
- ・分科会ワークショップでは、演習をしながら実際に授業を組み立てていくことがとても参考になりました。「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何が身についたか」で授業をデザインしていくことで目標や評価がぶれることなく授業ができそうです。
- ・【共通事項】を記入しているとあれもこれもと思ってしまうのですが、その楽曲の何を教えたいのかを取捨選択することも悩みました。しっかりとした教材分析をとおして何を教えたいのかを明確にし、授業に臨みたいです。